

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 179

2017年7月7日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

6月議会

「水と土の芸術祭」推進の補正予算に反対 憲法9条改悪反対の意見書を共同提案 —— 日本共産党市議団 ——



飯塚孝子議員

6月議会最終日の7月3日、日本共産党議員団を代表して飯塚孝子議員が一般会計補正予算案、国民健康保険事業会計補正予算案などへの反対討論を行いました。

「水と土の芸術祭」への市の負担金の大幅な減額を
一般会計補正予算案は、水と土の芸術祭推進事業に債務負担行為として2億1200万円が計上されています。
過去3回の芸術祭の総事業費に占める市の負担割合は、2009年が77%、2012年が79%、前回の2015年は93%と回数を重ねるごとに増えています。第4回目の2018芸術祭も、総事業費2億7千万円のうちの負担金は2億5千万円で全体の92.6%を占めています。メイン会場となる万

代島旧水揚場跡地の取得と合わせ、芸術祭関連事業ばかりが市の予算づけで優遇されています。子どもの貧困対策や教育、福祉にこそ最優先に税金を使うべきであり、水と土の芸術祭への市の負担金は大幅に削減すべきとの立場から補正予算案に反対しました。

国保やひまわりクラブの負担増に反対

国保事業会計の補正予算案と関係条例の改正案は、国保制度の県単位化に伴い、市がこれまで実施していた保険料の暫定賦課を廃止し、12回の納期を確定賦課となる7月から翌年3月までの9回に変更するためのシステム改修に1,596万円を充てるというものです。

国保加入者の生活実態は、世帯当たり所得額が8年間で約20万円も減収しているにもかかわらず、世帯当たり保険料は15万円台と変わらず、生活費に占める割合は高くなり、家計を圧迫しています。高い保険料のうえに12回の納期を9回にすれば、1回当たりの保険料は1.3倍になり、

さらに負担感が増し滞納世帯の増加が懸念されます。暫定賦課の廃止は、保険料を徴収する市側の事務効率のためであり、加入者にとってはデメリットにしかならないことから反対しました。

新潟市ひまわりクラブ条例の一部改正については、ひまわりクラブ利用料の月額上限6900円を8400円に引き上げるもので、ひまわりクラブ利用世帯の44%に当たる2,525世帯が負担増になることから反対しました。



「特区民泊」による規制緩和は旅館業法の否定につながる

「特区民泊」に関する条例案についても、次のような問題点を指摘し反対しました。

京都では旅館業の許可を得ない違法「民泊」が急増し、騒音やごみ出しなどのトラブルが問題となっています。特区民泊による安易な規制緩和は、消防法や建物、衛生の規制といった国民の安全と公衆衛



野本孝子議員

生を守る旅館業法の否定につながるから反対しました。

「憲法9条改悪反対の意見書案」に賛成討論

日本共産党議員団は3日の本会議に、社民党系議員らとともに「安倍政権の下での憲法9条の改悪に反対する意見書」を共同提案し、野本孝子議員が賛成討論を行いました。また、五十嵐完二議員が革新懇提出の「共謀罪の廃止を求める意見書の提出についての請願」の採択を求めて討論を行いました。いずれも自民党系会派や公明党の反対で否決されました。

市議団の日程

- 7月7日(木) 自治研と打ち合わせ
- 7月10日(月) 共謀罪廃止・共同街宣
- 7月11日(火) 市社保協総会
- 7月15日(土) 鉄道資料館記念式典
- 7月16日(日) 新潟民商総会
- 7月18日(火) 公契約条例推進委員会
- 7月19日(水) 党創立95周年記念講演
- 7月20日(木) 県女性議員の会